

# 知覧城・知覧麓など日本遺産に認定

## タイトル「薩摩武士が生きた町～武家屋敷群麓を歩く～」

令和元年（2019）5月、鹿児島県ではじめての日本遺産登録となりました。

対象地域は、鹿児島県・鹿児島市・出水市・薩摩川内市・垂水市・いちき串木市・南さつま市・志布志市・始良市・南九州市の麓集落等です。

### ストーリー概要

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿児島。そこには、本城の鶴丸城跡や、県内各地の山城跡の周辺に配置された「麓」と呼ばれる外城（とじょう）の武家屋敷群が数多く残っています。麓は、防御に適した場所に作られ、門と玄関の間に生垣を配置する等、まるで城の中のように敵に備えた構造を持っています。そこでは武士達が、心身を鍛え、農耕に従事し、平和な世にありながら武芸の鍛錬に励みました。

本城の鶴丸城跡や外城の武家屋敷を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。

### 日本遺産（Japan Heritage）とは

地域にある歴史的魅力を、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定して、国内外、主に外国人観光客に対して魅力発信や地域活性化を図ろうとする事業です。

各自治体から申請された歴史的経緯や地域の風土に根ざした伝承や風習を踏まえた「ストーリー」を文化庁が認定します。

国はオリンピックが開催される2020年までに、100件程度の認定を目標としています。

### ロゴマーク

日の丸は日本を表し、その下の縦格子のように見える繊細な線の集合は、JAPAN HERITAGEのアルファベット文字です。この線の集合は、ひとつの「面」を形作っており、日本の遺産を点から線へ、そして面で捉える「日本遺産」を表現しています。